

会社概要

社名 株式会社ナカムラ

代表者 中村 栄樹

本社 〒562-0034 大阪府箕面市西宿3-4-7
(登記上)

設立 平成元年10月31日

資本金 5000万円

年商 年商10億2600万(平成23年度)

従業員 20名

取引銀行 三井住友銀行、みずほ銀行、近畿大阪銀行

篠山工場 〒669-2465 兵庫県篠山市栗栖野27-1
TEL (079)595-1515
FAX (079)595-1516

URL <http://www.nakamura-forest.co.jp>

沿革

会社設立(平成元年10月31日)

大阪府箕面市西宿3-4-7 〒562-0034

米加丸太直輸入販売商社としてスタート

春日工場(平成7年12月)

住宅資材加工
(金物工法、KSK アメリカングルーラムホームの下請生産開始)

春日工場より篠山工場へ移転(平成8年9月)

兵庫県篠山市栗栖野27-1 〒669-2465

NK工法システム認定取得(平成10年4月)

自社独自開発、パネル生産開始、金物工法躯体販売スタート

NK工法全自动プレカット機械設備(平成13年8月)
加工能力(40坪/日)

許容応力度計算導入(平成14年4月)

建材、サッシ、販売参入(平成15年3月)
ウッドワン、ノダ等販売スタート

外断熱販売スタート(平成15年8月)

狭小間口木造3階建開発(平成15年9月)
狭小間口3階建用N-GATE(門型フレーム)を生産と販売スタート

門型フレーム販売開始(平成17年2月)

ジョインウッド一級建築事務所設立(平成19年11月)

設計事務所ベトナム支店設立(平成20年9月)

住宅施工スタート(平成24年2月)



NK工法

株式会社ナカムラ

弊社ではお客様よりご依頼いただいた建物のお見積りを行う際に、
NK工法の規定により全棟必ず構造計算を行い
安全性を確認できた建物においてのみ
お見積もりをさせて頂く体制となっております。

そのため弊社では、耐震性に問題のある建物に対しては
必ず改善策をご提案しながら、お客様にご提出させて頂いております。

お施主様の大切な財産であるご家族の住まう住宅を
安心・安全をモットーに骨組からお守りするのが
弊社の社会的役割であり使命であると考えております。

株式会社ナカムラ 社員一同

この写真はNK工法で建てられた保育園です。
なぜ木造でこのような大空間が実現できるのでしょうか?▶▶▶

木造で実現できる大空間

耐震プレカットシステムで自由設計をサポート!! Supporting the Freedom Design

許容応力度計算 & 高耐震接合金物



明石市 木造住宅3階建 2階リビングルーム 階高4m 幅8m

大切な住宅の安心と安全を守る許容応力度計算とは ▶▶▶



大阪市 保育園 木造体育馆 スパン11m



加古川市 保育園 木造2階建 スパン8m



加古川市 保育園 木造2階建 スパン8m



高槻市 保育園 木造2階建 スパン9m

『全棟』許容応力度計算を行い 安全性を確保した建物をご提供

比べて
ください

NK工法がご提供する「許容応力度計算」と一般的な「簡易計算」の違い。



許容応力度計算とは、

木造3階建や鉄骨構造で使用されている計算方法で、通常行われている簡易計算では建築設計士の知識と経験によって判断されていた項目や、建物にかかるあらゆる条件（室内の重さ、地震、雪、台風など）において、短期的かつ長期的な観点から建物の安全性の確認を行う計算方法です。



NK工法独自の証明書を発行
NK工法独自の許容応力度計算の証明書を発行します。

許容応力度計算の場合



住宅は一棟一棟形状が異なります。間取りや形が変わると、その耐震性も変わってしまいます。そこで異なる形の住宅の耐震性をはかるために、コンピューターによる全棟の構造計算（許容応力度計算）を行って、災害に強い構造体を設計します。

簡易計算（一般的に行われている計算方法）とは、

一般的な平屋、2階建木造住宅に使用されている計算方法です。地震や台風のような横からの力に耐えるための壁（耐力壁）の量とバランス、そして柱の引き抜きに対してのみのチェックとなり、その他は建築設計士の知識と経験によって判断されます。

簡易計算(N値、壁量計算)の場合
一般的には簡易計算が用いられますが、耐震に必要な多くの事項が検討されていないため、安心とは言えません。

PROTECT

●許容応力度計算では、次の6つの項目を詳細にチェックしています。

1 - 硬さ (剛性率)

HARDNESS

許容応力度計算の場合

壁の少ない階は、その階だけが、他の階に比べて揺れやすくなります。そのバランスが極端に悪いと、地震時に大きな負担がかかります。ここでは各階の硬さのバランスを設計します。



簡易計算の場合

検討されていないため、阪神大震災の時には1階部分が潰れた事例がありました。



2 - 風 (風圧力)

WIND

許容応力度計算の場合

大きな台風では最大瞬間風速50m/秒になります。その風圧に耐え得ることができる構造計算をします。



簡易計算の場合

地震荷重と同等になります。



3 - ねじれ (偏心率)

TWIST

許容応力度計算の場合

建物には重さの中心（重心）と地震のときに耐えようとする強さの中心（剛心）があり、その2点が離れるほどその建物はねじれやすくなるので、弊社ではねじれにくくなる設計をします。



簡易計算の場合

耐力壁の数と、設計者の知識と経験に委ねられるごく単純な設計方法で、建物の大きさ（重量）は検討されません。



4 - 重さ (鉛直加重)

WEIGHT

許容応力度計算の場合

建物自体の重さ、積雪や瓦などの屋根にかかる重さ、人や家具などでかかる重さなど、全ての重さ（重力）に耐えることができる構造設計をします。



簡易計算の場合

屋根材が重いか、軽いかの違いの検討と、短期的な荷重の検討のみで、床の重さや積雪荷重は検討されません。

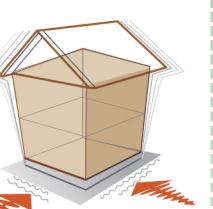


5 - 摆れ (地震加重)

SHAKING

許容応力度計算の場合

揃は建物の大きさ（重量）に影響されます。建物に応じて地震の揃に耐えることができる構造設計をします。



簡易計算の場合

耐力壁の数と、設計者の知識と経験に委ねられるごく単純な設計方法で、建物の大きさ（重量）は検討されません。

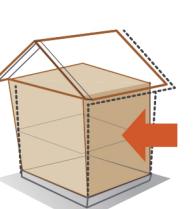


6 - ゆがみ (層間変形)

DISTORTION

許容応力度計算の場合

建物のひずみによって起こる内外装材の損傷を和らげるための構造設計をします。



簡易計算の場合

検討されません。



弊社では、『全棟』許容応力度計算を行い、安全性を確保した建物をご提供できるようにしました。

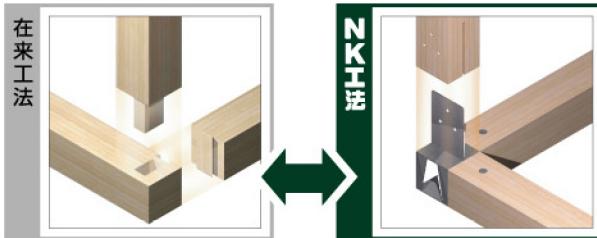
耐震接合金物と集成材が地震力の弱点を克服

NK 金物

震災を教訓に開発されたNK工法の耐震接合金物は、度重なる強度実験を繰りかえし、全ての金物と接合部に対して強度の証明ができるまでになりました。NK金物の開発によってこれまで不可能とされてきた大スパンや大空間のある木造建築を実現させる事が出来るようになりました。



基礎接合部



筋交の力が発揮される前に土台から破損することもあります。これでは筋交の力が十分発揮されません。土台に割れが発生する場合もあります。

特に力が集中し易い一階の四隅の柱脚（通し柱に準ずる位置）は「NK1」金物を使用。基礎に緊結、最大50KNの許容耐力があります。

大規模地震から大切な家を守ります



阪神大震災(820gal)の1.5倍(約1300gal)に対応。

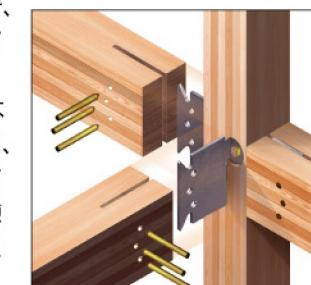
実大振動実験

NK工法では実大振動実験を行い、耐震性能の高さを立証しました。神戸震災820galからエルセントロ地震1200galまで、15回加振にもびくともしない実験結果を残しました。

実際の実験動画をホームページでもご紹介しております。
(<http://www.nakamura-forest.co.jp/>)

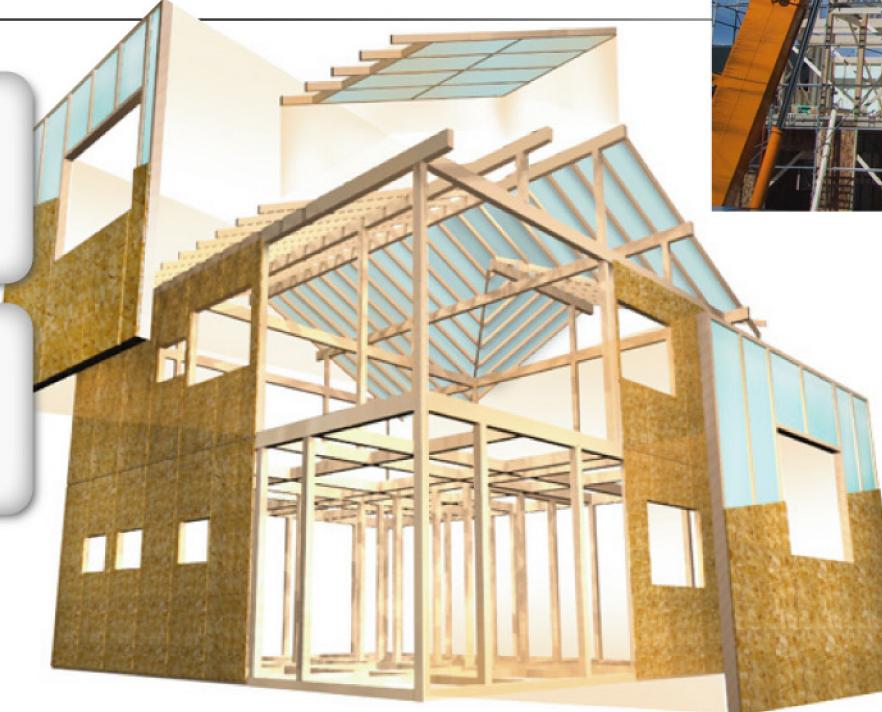
接合部の高い強度

NK工法の接合金物は梁や柱の断面欠損が少ないため、高い強度を維持する事ができ、乾燥収縮の影響もほとんどありません。梁と梁、柱と梁、土台と柱をつなぐ重要な金物を、NK工法では、幾度ものテストを繰り返して選定し、シンプルなまでに洗練された強度のある構造体となりました。



大幅なコストダウンと圧倒的な工期短縮

外壁 パネル



屋根 パネル

NK工法では、耐震金物によるプレカットとパネル工法の組み合わせにより、作業の簡略化と大工の技量に左右されない均一な仕上がりを実現します。また上棟から中間検査までの日程が大幅に短縮され、天候による影響も最小限になると同時にほとんどゴミの出ないクリーンな現場を実現しています。

門型フレームで大開口とビルトインの実現

自由設計なので思いのままの間取りが可能

門型 フレーム

NK工法では余りある剛性に基づき、大スパンの開放的な間取りを可能にしました。また、この工法による剛性は、国土交通省の定める住宅性能表示制度において、最高レベルの評価を得ております。門型フレームはスパンが通常、「5,460m/m」飛ばせるので、大型乗用車が二台入る駐車場のビルトインも可能です！

門型フレームで限られた敷地の有効活用を可能にします。

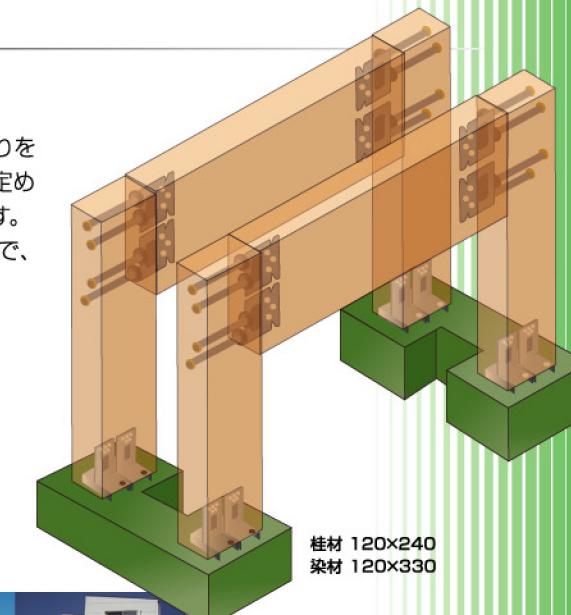
在来工法

強度を確保するために両側に耐力壁が必要。結果として間口が狭くなる。



NK工法

門型フレームを使用すれば耐力壁も無くなり、すっきりとした大開口が実現できます。



都心部での住宅でもビルトインにする事ですっきりとしたデザインの住宅に仕上がります。

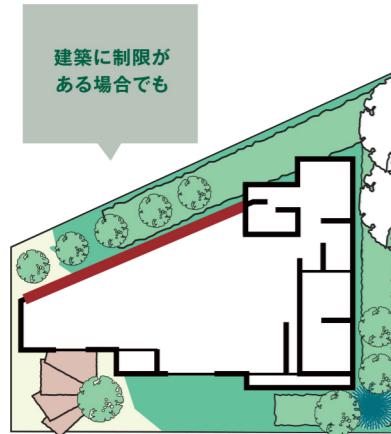


構造計算からプレカットまでのトータル支援を実現!

斜め壁

Slanted Wall

複雑な地形に建てる、異型の建築物は安全確認もあいまいになりがちですが、NK工法なら確実に安全性を確保しながら、最大限の空間を確保いたします。

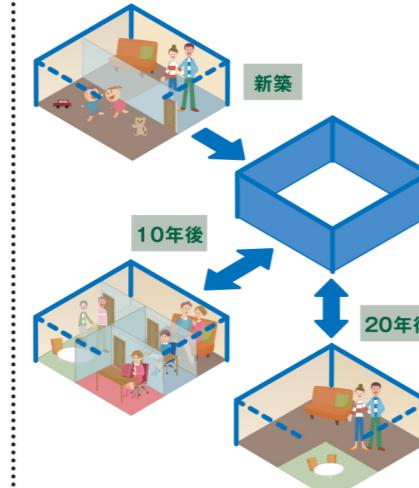


1

間取り(自由設計) スケルトンインフィル

Skeleton-infill

間仕切りの要らない大空間を実現する事で、将来度でも間取りの変更が可能な資産価値の高い住宅を実現します。

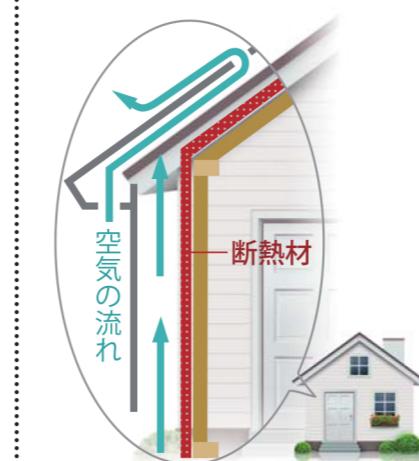


2

外断熱

Heat Insulation

建物の内側から施工する内断熱工法に比べ、外断熱工法は建物の外側から施工するため、断熱材どうしの連続性を保ち隙間が少なく気密性に優れた断熱工法です。



3

混構造

Mixed Structure

車庫付、ビルトイン住宅 (RCと木造の混構造) も基礎構造計算から全てサポート。



4

狭小地

Narrow & small Area

京都特有の長屋の改築も、立て起こし工法の導入で解決。隣との隙間を0mmにする工法を実現。

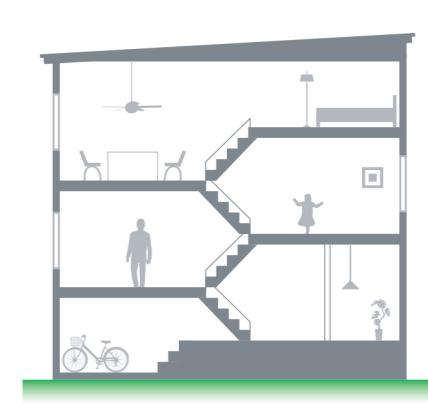


5

スキップフロア

Skip Floor

確認申請も困難なスキップフロアもNK工法なら構造計算からサポートいたします。



6

鉄骨プランを木造にシフト!

公共建築物木材利用促進法と 国産材有効活用を構造から支援します。

これまで、公共建築と言えば鉄骨やRC構造で建てられる事が当たり前でしたが、集成材や許容応力度計算の導入により、大型施設に対しても確かな安全性が証明出来るようになりました。これによりこれまで困難とされてきた大型公共建築物や大型施設が木造で建てることが出来る時代になりました。

*さらに鉄骨よりコストダウンがはかれます。

公共
施設



耐火
建築



木造建築物を建てる事の出来なかった都心の防火地域でも木造大臣認定によって木造化を実現し大幅なコストダウンを提案します。

現在集成材は最長23mまで製造が可能であり、弊社でも最大スパン11mスパンの大ホールを実現しています。

工場見学 随時受付

(株)ナカムラでは、お施主様に生産過程をみていただけますよう、随時工場見学を実施しています。



弊社では、日頃から工場の見学などを行っており、お施主様、工務店様、地元の小中学生の社会見学としても、幅広く工場を公開しております。普段見ることの出来ない製造現場をご覧頂き、地震大国が誇る木造技術をご覧頂く事ができます。また、実際に家を建てる施主様の見学の日に合わせてプレカット加工を行なうなどのサービスも行っております。

工務店研修会

NK工法では、積極的に現場見学会を行い、木造大型建築に対する現場での技術公開や研修会を行っております。



セミナー



JBN工務店サポートセンター兵庫支部として弊社ナカムラが事務局を務める『京阪神木造住宅協議会』は、工務店同士が情報交流を図る活動の拠点として、平成24年現在約100社の工務店を会員に研修会などの活動を定期的に行っております。